

平成19年

January  
1月号

No.87

# 月刊 まつなみ

●発行●



松波総合病院

羽島郡笠松町田代185の1  
TEL058-388-0111代



## 挨拶は 親しまれる病院づくりの 第一歩

一月一日

年の始めの 例(ためし)とて

終(おわり)なき世の めてたさを

松竹たてて 門ごとに

祝(いおう) 今日こそ 楽しけれ

初日のひかり さしいでて

四方(よも)に輝く 今朝のそら

君がみかげに 比(たぐ)えつつ

仰ぎ見るこそ 尊(とう)とけれ

### 理念

私たちは、地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

### 基本方針

私たちは、地域中核病院を有する法人として、医療環境の変化に対応した質の高い保健・医療・福祉サービスの提供を通して、地域社会と共に発展をめざします。

私たちは、患者様や利用者の方のプライバシーを守るとともに、権利を尊重し、根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供できるよう努力します。

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図ることにより、職員の働きがいを追求するとともに、職員の生活が安定し向上するよう努力します。

### 目次

- 年頭の挨拶
- クリスマス会  
1月のお知らせ
- 外来基本診療体制

松波総合病院ホームページ

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>

# あけましておめでとうございます



医療法人 蘇西厚生会  
松波総合病院 理事長  
松波 英寿

新年明けましておめでとうございます。

2006年は、私たち国民にとって明るい年だったでしょうか。日本から1000kmも離れていないところで核実験が行われ、その対応に国際社会はあたふたし、日本はなすすべがありません。国内では自殺する方が相次ぎ、また凶悪な殺人事件も日常茶飯事になってきました。県内では県庁の裏金が大きな問題となり、相前後して他の自治体でもさまざまな不正が明らかとなりました。世の中“何かがおかしい”と多くの方が思われると思います。

こういったなかで、新政権が誕生し、改革を進め、“美しい国”を作るとのことですが、現実にはますます醜い国の形成にまい進していると多くの方が感じていると思います。

その中で、いま切り捨てられているといわれる医療、介護は国民（とりわけ医療者）にとっても最も関連が深い領域ですが、たしかに患者自己負担は増え、各種補助も減り、医療機関（病院・診療所）も患者様も保険者も経済的に苦しい状況にあります。こういった状況のなかで、医療機関は今後どうしたらいいのでしょうか？こまった、こまった、と言って昔のように優遇せよと主張しても聞き入れてくれないでしょうし、その余裕は既にこの国にはないでしょう。したがって医療費に無駄遣いがあるからそれを抑制しようという発想は正しいと思います。では具体的にどうしたらよいか。それは当院が数年来追いつけている“効率のよい医療”を行うことではないでしょうか。つまり、私たちにとっては、松波総合病院に行けば“早く直り結果的に医療費が安い”と地域の皆様（住民・連携医）方から評価・支持される事です。

幸い当院は、2006年からいち早くDPCに参入しました。まさしくこのDPCは上記の理念にかなうシステムです。今後も他の多くの医療機関（病院）に先駆け、効率よい医療実践のため、連携医の方々と協力し、地域の皆様に提供していきたいと思えます。

また、日本の産業の未来は暗いと多くの方が感じているでしょう。その主因は第一次産業も第2次産業も安い労働力が提供されるアジア諸国に流出しているからではないでしょうか。しかし医療に関連する職種は大幅な住民の海外移住がない限り国内にとどまることは必然です。したがって、他の業種のように海外に逃げていけない代わりに、医療関連職種は国内に需要は存在し続けるわけです。これは他の職種にない大きなメリットです。その代わりに、国内で今抱える諸問題を解決しなければならないわけです。したがって改革が必要になるわけですが、今後も、当院が歩んできた方向で改革を進めていけば地域の皆様にはもちろん、医療者にとっても益に成り得ることとっております。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



医療法人 蘇西厚生会  
松波総合病院 病院長  
山北 宜由

あけましておめでとうございます。

今、日本の医療事情はめまぐるしく変化しつつあります。厚生労働省の方針によって急激な方向変更が行われ、国民の健康に係る医療・介護が大きく変えられようとしています。各方面から、その実情に合わない点が数多く指摘されていますが、現在の所は方針を変えようとする姿勢は見えません。一方、昨年には「医療提供体制の確保に関する基本方針（案）」が厚生労働省から示され、患者本位の医療実現と患者や国民が自ら積極的かつ主体的に医療に参加していく仕組みづくりが必要であるとされました。また、現在の日本の疾病構造を踏まえ、疾患罹病後の生活の質向上も考えた上で、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病に対応した医療体制、さらに救急医療、災害時医療、周産期医療、小児救急を含めた小児医療、およびへき地の医療の4疾患事業に対応した医療連携体制の構築を図るとする旨が述べられています。松波総合病院では、ここに述べられた4疾患につきましては、現在でも、それぞれの専門医が十分な対応をしておりますが、それ以上に地域の連携医の先生方と共に、住民の方々にとってより効率的な連携体制を作るために努力し、疾患ごとに、診療所も病院も同じ診療方針で、大規模な機器を使用する検査も、また極めて専門的な技術を要する検査・治療も共同して行えるようなシステム（医療連携バス）を使って診療を行いはじめています。脳卒中・心筋梗塞は、高血圧・高脂血症・糖尿病などのいわゆる三大生活習慣病がもとになって生じることが殆どです。がんの早期発見と共に生活習慣の改善は医療連携体制の前に、まさしく国民ひとり一人が自分の健康管理に積極的に参加することで発症を予防することができます。松波総合病院では、今後も公開市民講座を開いて住民の方々に対する疾患予防の啓蒙活動をおこなったり、生活習慣に関する指導も積極的に行い、それでも、不幸にして心筋梗塞や脳卒中が発症した時でも、24時間いつでも、早期に適切な処置を行えるよう、夜中でも3-4名の救急担当医が勤務して対応できる体制をとっております。松波総合病院は、今年も連携医の先生方と手を取り合って、地域住民の方々の健康を守ることに邁進する覚悟ですので、よろしくお願ひ申し上げます。



# Merry X'mas



## クリスマス コンサート

12月2日(土)と、23日(土)の両日 午後2時より、総合病院1階エントランスホールにおいて恒例となりました“クリスマスコンサート”が開催されました。

2日(土)には、

今年は、モーツァルト生誕250周年であり、それを記念して羽島市在住の女性4人組(OP.1:オーパス・ワン)の方達による「魔笛」を朗読・歌・キーボード・シンセサイザー・ピアノを駆使した音楽劇が行われました。

また、23日(土)には、

今回で、4年連続で県立岐阜高等学校 音楽部 総勢31名による合唱を堪能しました。

県立岐阜高等学校 音楽部は、今年も全日本合唱コンクール全国大会において、見事金賞に輝き、さらにその中で、文部科学大臣賞にも表されました。

当日は、患者様・ご家族・お見舞い・近隣の方をはじめ、100名を超えるたくさんの方が鑑賞され、今までにない、音楽劇や学生の素晴らしい歌声を披露していただき皆感動してみえました。

これからも、コンサートを開催していきたいと思っておりますので、夏も計画中です。ご希望の方がみえましたらお気軽にお申し出下さい。



## 1月 お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

◎20日(土) 3階講堂にて 午後2時～4時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。



### 交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院  
名鉄電車羽島線15分 徒歩10分  
タクシー-20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院  
名鉄電車羽島線17分 徒歩7分  
タクシー-15分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院  
名鉄電車羽島線25分 徒歩10分